

こっこめ通信 07 2018

「梅雨明けだ～！」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年は梅雨入りが早かったので梅雨明けも早いのでは？と思っていたところ、29日11時、気象庁から「関東甲信地方は梅雨明けしたと見られます。」との発表がありました。1951年からの統計で関東甲信地方が6月に梅雨明けしたのは初めてようです。今後、確定値が発表されると変更になることはありますが、高気圧が張り出しているのもそれはなさそうですね。八丈島は25日に梅雨明けしてた感じが…。

光るキノコ無料観察会は、7月21日から。詳しくは右のQRコードからどうぞ！（または最終ページ）

光るキノコ無料観察会

今回は「6月は雨が多かった？」「ピロウをじっくり見てみる」のお話です。



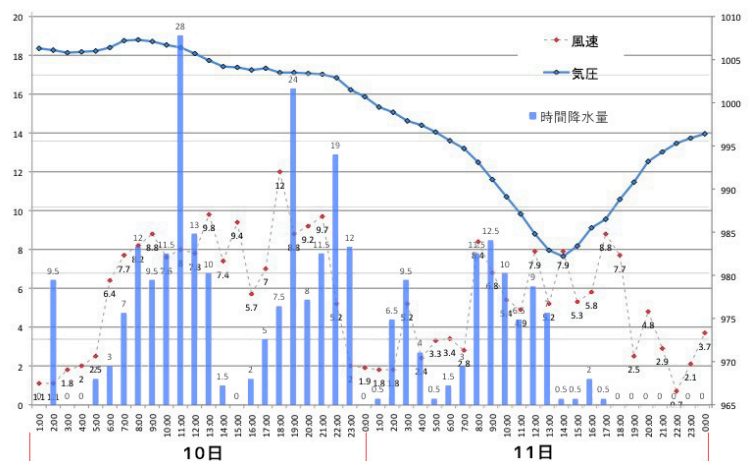
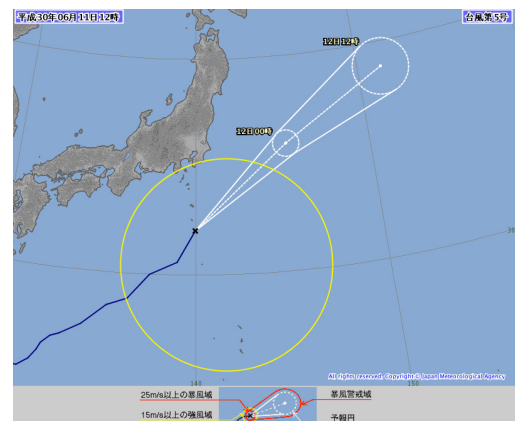
6月は雨が多かった？

6月6日にフィリピンの東で発生した台風5号は少し北上した後、日本の沿岸を沿うように北東に進みました。台風からの湿った風により梅雨前線が刺激され、八丈島では10日から雨が強くなりました。

下のグラフは10日から11日にかけての降水量と風速、気圧を表したものです。台風が近付くと風が強くなりますが、今回は風は吹かずに雨のピークが何度かありました。台風の最接近は気圧が一番下がった11日14時頃だったようです。10日の日降水量は196mmで6月としては3番目の記録。また、月最大24時間降水量も207mmと6月としては4番目の記録となっています。

今月の雨はそれだけでは終わらず、15日には前線上にできた低気圧の影響で雨風が強く、最大瞬間風速29m/sの風が吹き、74.5mmの雨も降りました。この低気圧の方が台風らしかったです。18日には台風6号から変わった低気圧の通過により67mmの雨が降り、23日から24日にかけては梅雨前線の影響で二日間で72mmの雨が降りました。

29日までの記録ですが、6月の総雨量は575mmとなり、6月としては7番目の記録となっています。平年の記録は308.6mmなので今年は多いですね。ちなみに1910年10月の1か月1095mmが年間を通しての1位です。



観測史上1～7位の値（6月としての値）

要素名／順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	統計期間
日降水量 (mm)	224.0 (1992/6/18)	200.5 (1998/6/3)	196.0 (2018/6/10)	193.0 (1981/6/14)	187.5 (1985/6/13)	186.5 (1999/6/22)	165.4 (1912/6/25)	1906/6 2018/6
月最大24時間降水量 (mm)	264.5 (1992/6/18)	244.0 (1985/6/13)	227.5 (1981/6/14)	207.0 (2018/6/10)	203.5 (1998/6/3)	186.5 (1999/6/22)	173.5 (2009/6/5)	1946/6 2018/6
月降水量の多い方から (mm)	734.0 (1995/6)	717.5 (1998/6)	687.6 (1942/6)	614.0 (1921/6)	601.5 (1992/6)	586.5 (1975/6)	575.0 (2018/6)	1906/6 2018/6

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

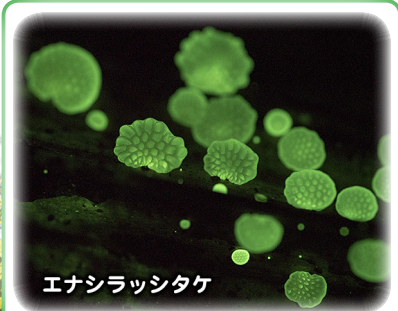
ビロウをじっくり見てみる

植物公園内にたくさんあるビロウにはいろいろな生きものが着いています。葉の付け根の繊維質が残る部分には、シダ植物や鳥などによって種子散布された植物も着きます。今回はビロウに着く植物以外の生きものを探してみました。10mm に満たない小さなものが多いですが、探すといろいろと見つかって面白いですよ！



ニッポンヒラタキノコバエ(幼虫)

葉柄の根本に着くアイアナタケの上にいるニッポンヒラタキノコバエの幼虫は夏に見られます。光りは弱いですが青白く光ります。



エナシラシタケ

枯れた花柄や落ちた葉などから発生するキノコ。柄が無く、傘は蜂の巣のような形をしています。緑色に光ります。



ヤコウタケ

背の低いシンノウヤシから発生することが多いですが、梅雨時などはビロウの幹から発生することもあります。緑色に光ります。



キハダエビグモ

幹に卵を産み付け、守っているキハダエビグモ。樹皮の色に溶け込み、見つけにくい。近付いてくる昆虫を捕らえます。



コケシタムシ(コケシロアリモドキ)

大きさは7mmほどでオスには翅があります。とても細い糸を出し、樹皮の割れ目などに営巣しています。巣はすぐに分かります。



クロフチャタテ科の一種

クロフチャタテ科の *Aaroniella* sp. は幹にとて細い糸を張り巡らせた巣？の中で見られます。成虫も幼虫も確認できました。



アシロヒラフシアリ

アミメアリ

アリの仲間も幹や枯れ葉に巣を作っていることがあり、せっせと上り下りしている姿を目にします。数種類いるのでしょうか？



ヒモミノガの仲間

ヒロズコガ上科の一種？

ヒモミノガの仲間はビロウの樹皮が好きなようでたくさん付いています。別の囊を背負っている幼虫も見つけました。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。天候不順のため予定よりも一週間延期し6月17日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成30年第6回）調査者：沖山、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			34	テリハノブドウ	花	木本		
1	アオツツラフジ	花	35	テリミノイヌホオズキ	花と実	1	アカメガシワ	若い実
2	アオノクマタケラン	花、盛り	36	トウバナ	花と実	2	イヌビワ	実
3	アメリカスズメノヒエ	花	37	トキワハゼ	花	3	エノキ	実
4	イヌガラシ	花と実	38	ナギナタガヤ	花と実	4	オオバヤシャブシ	若い実
5	イヌクグ	実	39	ニラバラン	花	5	オオムラサキシキブ	花
6	イヌタデ	花	40	ヌカボ	花	6	ガクアジサイ	花
7	イワニガナ	花	41	ヌスビトハギ	花	7	シチトウエビツル	花
8	ウスベニニガナ	花と実	42	ネジバナ	花	8	テイカカズラ	花、咲き残り
9	ウラジロチチコグサ	花	43	ノアサガオ	花	9	マサキ	花、咲き始め
10	オオアレチノギク	花	44	ノジスミレ sp.	実	シダ植物		
11	オオニワゼキショウ	咲き残り	45	ハキダメギク	花と実			
12	オオバコ	実	46	ハチジョウウイタドリ	実	1	アラゲヒメワラビ	
13	オニタビラコ	花と実	47	ハハコグサ	花	2	イシカグマ	
14	オニドコロ	花	48	ハマスゲ	花	3	オニヤブソテツ	
15	カタバミ	花と実	49	ヒナギキョウ	花と実	4	カニクサ	
16	カモジグサ	実	50	ヒメジョオン	花	5	スギナ	
17	キランソウ	花	51	フウトウカズラ	若い実	6	タチシノブ	
18	キンゴジカ	花と実	52	ブラジルコミカンソウ	花と実	7	タマシダ	
19	ギンレイカ	実	53	ベニバナボロギク	花	8	トラノオシダ	
20	クサイ	実	54	ヘラバヒメジョオン	花	9	ナチシケシダ	
21	ケキツネノボタン	花と実	55	ミズヒキ	花	10	ノキシノブ	
22	コゴメガヤツリ	花	56	ミツバ	実	11	ハチジョウシダ	
23	コセンダングサ	花と実	57	メヒシバ	花	12	ヒトツバ	
24	コナスビ	花と実	58	ヤブガラシ	花	13	ホシダ	
25	コハコベ	実	59	ヤブジラミ	花と実	14	ホラシノブ	
26	コマツヨイグサ	花	60	ヤマヌカボ	実	15	マツバラン	
27	ザクロソウ	花と実	61	ヨツバハコベ	実	16	マメツタ	
28	シマスズメノヒエ	花と実	62	ヨモギ	花	今回はシダ植物 16 種を含む、87 種の植物を観察しました。昆虫ではテングチョウが 30 頭以上群れている場所があり、センノカミキリの姿も見られました。		
29	シマボロギク	花						
30	タチスズメノヒエ	花と実						
31	チチコグサモドキ	花と実						
32	ツメクサ	花と実						
33	ツルマオ	花と実						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる「アイアナタケ」にスポットを当ててみたいと思います。



アイアナタケ

Grammothele fuligo

ヒダナシタケ目コウヤクタケ科。沖縄～東南アジアの熱帯域に広く分布。子実体は背着生、子実層は青白色で管孔状。

島ではビロウなどの葉柄で普通に見られます。ニッポンヒラタキノコバエの幼虫がこのアイアナタケに巣を作ります。

2018 八丈ビジターセンター 7 プログラムカレンダー

日付の下に書かれているグラフは、八丈島（神湊）の潮汐のデータです。
満潮・干潮の時刻を表示しています。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク	2	3	4	5	6 ●	小暑 7 ガイドウォーク
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	9	10	11	12	13 ●	14 ガイドウォーク
15 ガイドウォーク	16 ガイドウォーク	17	18	19	20 ●	21 ガイドウォーク
22 ガイドウォーク	大暑 23	24	25	26	27	28 ○ ガイドウォーク
29 ガイドウォーク	30	31				

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！

7/8（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「川の生きもの観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、ホタル水路や鴨川で淡水に棲む生きものを探して観察します。
7/28（13：30～ 約1時間半） 中学生以上
和泉親水公園集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「潮だまり探検隊」

潮だまりでいろいろな生きものを採集して、みんなで観察しましょう！濡れてもいい格好で。
7/27（10：30～ 約1時間半） 小学生と保護者（小学生未満は同伴不可）
現地（当日決定）集合・解散 参加費：50円 定員：15名

夏休み特別行事 「夜の昆虫観察会」

恒例の夜の昆虫観察会！植物公園内で夜に活動する昆虫を探して観察します。
7/28（19：30～ 約1時間半） 小学生以上（小学生は保護者同伴・小学生未満同伴不可）
ビジターセンター集合・解散 参加費：50円 定員：20名

夏休み特別行事 「光るキノコ無料観察会」

7/21～8/31（7/25、8/1・8・11・15・22・29はお休み） 植物公園メインエントランス集合 無料
受付時間：19：20～20：00 受付の最終締切は20：00です。
NPO 法人八丈島観光レクリエーション研究会等のボランティアガイドがご案内いたします。

ビデオプログラム

10：00～ 八丈・海・生きものたち
11：00～ おじゃりやれ 八丈島
14：00～ おじゃりやれ 八丈島
15：00～ おじゃりやれ 八丈島
16：00～ 八丈・海・生きものたち

上記以外での上映は毎時20分～40分～から可

東京都八丈ビジターセンター 2018.7.1 第206号

開館時間 9：00～16：45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

島のピロウは園芸種。都道の街路樹などにも使われ、八丈島が南国チックに見える木ですね。葉柄に棘があり、5月に花が咲き、幹周り太いアオピロウ（オガサワラピロウ？）と葉柄に棘が無く、8月に花が咲き、幹周り細いアカピロウ（メイジマピロウ？）があります。（高）